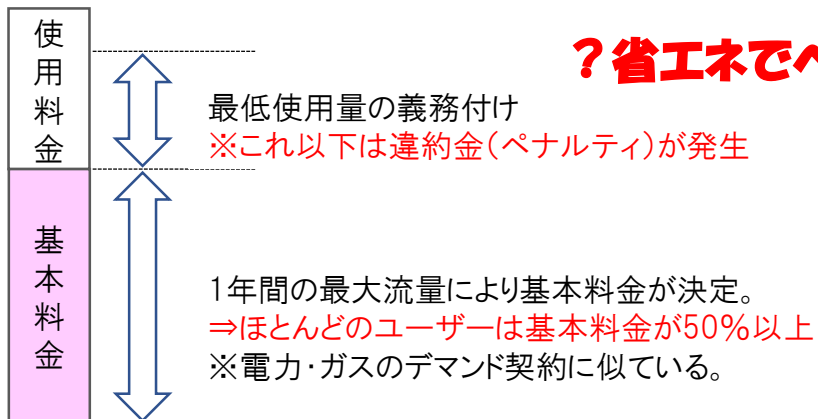


IoTを用いた地域の省エネ対策 さいたま版グリーンニューディール事業

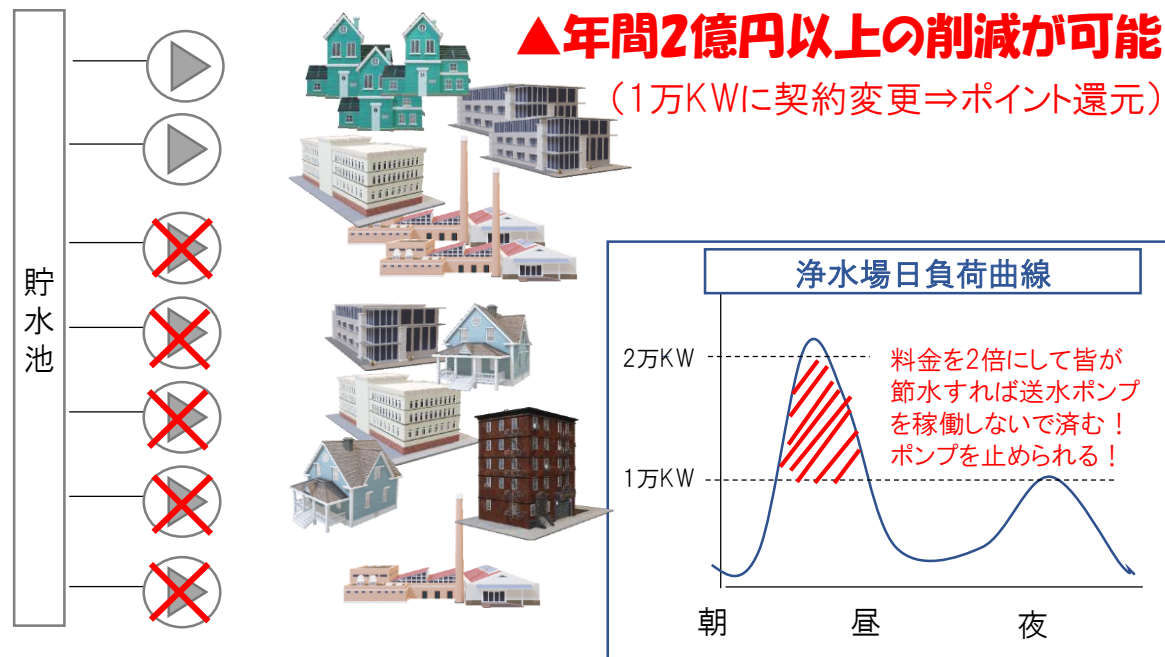
地域冷暖房 省エネ対策 (全国78社/138拠点)



- ・課題 供給エリアの施設は省エネをすれば、ペナルティが与えられる為、国策の省エネをすることが出来ない。
- ・処方箋
 - ☞ **約款変更**を経済産業省に働きかける。
(電力・ガス自由化の中で地冷だけが独占供給はおかしい)
 - ☞ 配管抵抗低減剤(LSP+インバータ)によるデマンドコントロール(地冷で実績有)
 - ☞ 地球温暖化防止入札によるエネルギー供給会社の見直し(住民に対し見える化を義務付ける)

浄水場 省エネ対策

朝霞浄水場や大久保浄水場は、契約電力2万KW
☞ 負荷の70%が送水ポンプ



- ・課題 水道料金は一定の為、誰も節水努力をしない。
- ・処方箋
 - ☞ 自治体の水道局が時間帯別水道料金システムの選択約款を創る。
(例えば、午前中は2倍の料金、その他は半額にする。)
 - ☞ 開発予定の省エネナビCO2を契約した家庭に配布する。
 - ☞ 地球温暖化防止入札によるエネルギー供給会社の見直し。